

運輸交通部会長報告

会議名 **秋田県建設部と運輸交通部会との意見交換会**

日時 2024年10月11日（金）16：00～17：30

場所 秋田商工会議所 7階 ホール80

出席者 ◆**秋田県建設部 川辺部長、菊地次長、
石川道路課長、千葉港湾空港課政策監**
◆**佐藤副会頭、水澤専務理事、
正副部会長・部会員13名**



【開催模様】

内容 (1) 懇談

テーマ「地域活性化に向けた交通インフラについて」

講演者 秋田県建設部 部長 川辺 透 氏

秋田県建設部 次長 菊地 弘之 氏

(2) 意見交換

テーマ「地域活性化に向けた施策展開について」

川辺部長 懇談内容 概要

- **本年7月の豪雨災害では、**県南部および五城目町、上小阿仁村、北秋田市の地域を中心に被害に見舞われ、**公共土木施設被害額は約189億円となり、**昨年の秋田市を中心とした大雨被害額約195億円に匹敵する被害となった。
- 子吉川圏域緊急治水プロジェクトの策定に向け、現在検討を重ねている。ハードだけでなく、河川カメラの設置などソフト面も並行して行っていく。
- 高規格道路ネットワーク整備について、能代地区線形改良は今年度開通予定であったが、一部にクラックが発生。現在解析を行っているため、現時点で開通時期未定となっている他、遊佐象潟道路は今年7月の大雨により被害を受け、若干工事が遅れている。
- **秋田港アクセス道路**について、今年度は建物補償、用地買収、橋梁工、改良工を実施している。**現在の進捗は、用地取得が99.9%、事業進捗率が約40%となっている。**
- **台湾チャーター便**はトップセールスの成果もあり令和7年3月まで延長された。比較的搭乗率は良いが、**県として県内宿泊者増に向けた仕組みを検討している。**

菊地次長 懇談内容 概要

- ・ 能代港の基地港湾整備に係る地耐力強化は8月に整備が完了した。
- ・ **船川港は27年ぶりに港湾計画が改訂**された。9月27日に「秋田市沖」が準備区域に指定されており、その他海域も含め、**秋田・能代・船川3港が連携して洋上風力発電事業に取り組んでいきたい。**
- ・ 6月に浮体式洋上風力実証事業において本県南部沖でのプロジェクトが採択された。
- ・ **港湾脱炭素化推進計画については、**昨年度末の協議会で素案を示していたが、現在協議会意見の反映や関係者調整を行っている。終わり次第国交省へ確認を求め計画案となり、**パブリックコメントを経て年度内に計画を公表したい。**
- ・ クルーズ船は昨年度過去最高の寄港回数となった。今年度も27回の寄港を予定している。
- ・ **令和5年8月に井本商運で最大の「かいふ」が運航開始した。**秋田港のコンテナ取扱量は上昇傾向にあるものの、**貨物量が増える様に取り組んでいきたい。**

1. クルーズ船受入環境整備に向けた港湾施設の整備について（新規）

- ・平成29年度にクルーズターミナル、令和2年度に屋根付き通路を整備している。CIQについては、今年の秋田港への寄港26回の内、必要な寄港は2回のみ。様々な利用状況や費用対効果を加味しながら総合的に検討していく。

2. 新国道・野村交差点の渋滞緩和について

- ・昨年度は設計を行い、今年度は秋田天王線及び秋田北インター線の右折レーン延伸の検討を実施するとともに、県警と中央分離帯部分の規制標識の移設協議を行っており、順調に進んでいる。
 - ▶(土崎方面から野村交差点を通過した直後に、コンビニ前で右折可能になっている事が原因では)ご指摘のコンビニ前での滞留も含めて設計を行っている。県警も含め安全対策に努めたい。

3. 自動運転への取組について（新規）

- ・自動運転の実現までには、自動運転に対応したインフラシステムの検討や走行空間の確保、安全対策等、解決すべき課題が多い。国の動向や利用者のニーズ等を踏まえながら産業労働部及び観光文化スポーツ部等と情報共有を図っていく。

4. 秋田港アクセス道路の整備について

- ・今年度は、新城川や国道7号、JRを跨ぐ連続高架橋や、飯島地区の大規模な切土工事などを実施しており、順調に整備は進んでいる。

5. クルーズ船受入環境整備に向けた港湾施設の早期整備

- ・セリオン前の岸壁改修工事について、今年度は鋼管杭の製作を実施しており、引き続き早期完成に向け取り組んでいく。
- ・陸上電力供給体制については、策定中の秋田県港湾脱炭素化推進計画でも言及しており、今後のカーボンニュートラルポートを目指すためにも、有効なものであると認識しており、将来のエネルギー需要の動向や港湾利用ニーズの把握に努めながら検討していく。

6. 秋田港周辺的安全対策の強化

- ・ラウンドアバウト事業を県産業労働部産業集積課が所管しており、今年度は飯島製錬の排水路が支障物件となっていることから暗渠移設工事の設計、及び団地内道路の一部区間の舗装工を実施している。
- ・令和7年度以降は支障物件の移設工事と団地内道路の舗装工を予定しており、建設部からも早期の完成を働きかけていく。